



## 平成28年度実践記録・自作学習材コンテスト

### ＜実践記録の部＞ 優秀賞

1 年間の社会科歴史授業実践  
～年間を通した手立てから児童主体の問題解決的な学習へ～  
長野原町立中央小学校 教諭 轟 和也

#### 1 実践の概要

社会科の歴史分野において問題解決的な学習を行うために、年間を通して交流場면을重視したり、教材の提示の仕方を工夫したりすることにより、児童の興味・関心を高め、学び方を身に付けられるようにした。

#### 2 具体的な取組

##### (1) 「フラッシュカード」や「人物標語」

手作りの「人物標語」を読んだり、パワーポイントを使ったフラッシュカードを作成し、授業の導入時に活用したりすることで歴史上の人物への興味・関心を高めることができた。

##### (2) 指導方法の工夫

児童主体の問題解決的な学習を行うために、年間を通して児童間で質問やアドバイスをし合ったり、友達の意見を参考にする活動を取り入れたりした。中でも、『3人の武将と天下統一』の単元においてジグソー学習を取り入れた。



#### 3 実践の成果

年間を通して、問題解決的な学習を取り入れたことで、学習方法や授業の流れに見通しがもて、主体性が向上した。また、交流場面を多く設定したことで、自分の考えを整理したり、友達の意見を比較・関連付けて考えたりすることができるようになった。

### ＜実践記録の部＞ 奨励賞

展開をとらえて読む力を高める指導の工夫 ～説明文の読解～  
中之条町立中之条中学校 教諭 塩野谷 喜生

#### 1 実践の概要

説明的な文章の読解において、文章の構成や段落相互のつながりをとらえて読む力を高めるために、資料を分割して再構成させたり、その理由を説明させたりする活動を取り入れた。

#### 2 具体的な取組

##### (1) 資料提示の工夫

意味段落ごとに区切った【文章資料】と本文に付された【絵図資料】とを対応させながら、文章を再構成させた。

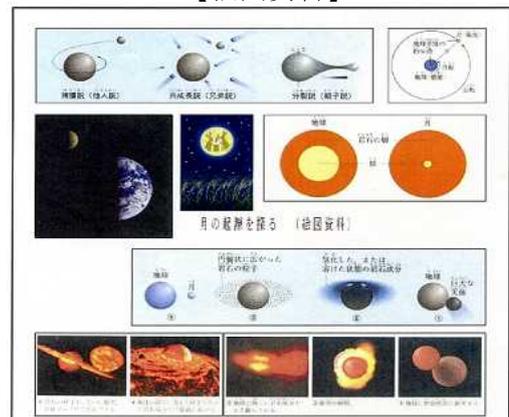
##### (2) 説明活動の工夫

自分なりの考えをもてるように、考える時間を確保した。小グループでの話し合いでは、自分の意見をもとに意見交流を行った。

##### (3) 思考を深める言語活動

接続語や共通するキーワードに着目させ、段落ごとの意味やその前後関係を考えていくことで思考を深めさせた。

#### 【絵図資料】



#### 3 実践の成果

生徒が何度も文章を読み込み、接続語や絵図と文章を対応させながら自分なりの構成を決めることでより主体的な学習になった。また、友達の意見と自分の意見を比較・検討する交流場面を設けたことで、文章のつながりを意識し、より深く読み取る力を身に付けることへつながった。

## <実践記録の部> 奨励賞

### 心 潤う 道徳 を 目指 して

長野原町立東中学校

教諭 剣持 裕行

#### 1 実践の概要

日々の道徳授業を大切にすることがいじめ防止対策の一つとして重要ではないかと考え生徒が生き生きと授業に参加し、心が動かされる道徳の授業を目指した。

#### 2 具体的な取組

(1) ICTを活用した授業

「ニワトリを食べるまで」「14才の母」

(2) 読み物資料を活用した授業

「ハインツのジレンマ」「二通の手紙」

(3) 体験を通して学ぶ授業

「自然を感じる・校外での自然体験学習」

(4) 自作ワークシートを用いた授業

「褒めまくり！3A」

(5) 道徳ノートの活用

道徳の授業への意欲向上と、容易に振り返りができるようにするための工夫として、道徳ノートを作成した。

ノートには、授業の内容、友達の見解、自分の感想などを記録させていき、道徳で扱った資料やワークシートなども貼り、いつでも、振り返ることができるようにした。



#### 3 実践の成果

生徒が生き生きと授業に参加できるようになり、生徒と教師生徒同士の関係が向上し、学級の雰囲気がよくなった。通信に、本時の道徳の内容や生徒の感想などを掲載することで、学級の仲間の考えを共有することにつながった。

## <実践記録の部> 奨励賞

### 興味・関心を高め、持続させる教材教具の提示と授業改善のための実践記録 ～種子の模型を利用した教材の工夫と単元構成を中心として～

東吾妻町立東吾妻中学校

教諭 武井 雅俊

#### 1 実践の概要

「植物の世界」の単元において、教材と単元構成を工夫することで、生徒が植物をより身近に感じ、植物に対する探究心を育成した。

【ニセモノ種図鑑シート】

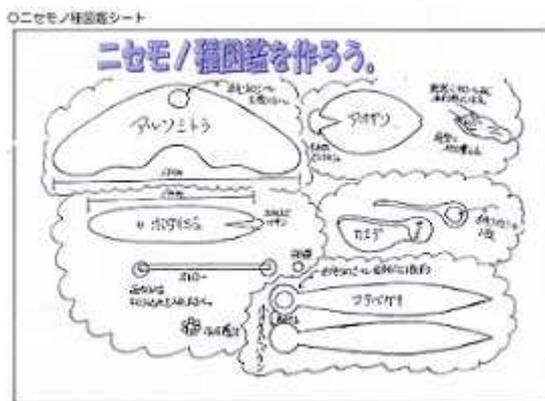
#### 2 具体的な取組

(1) 教材の工夫（ニセモノ種図鑑の作成・活用）

本物の種子に似せた模型を作り、実際にシミュレーションすることにより、種子のしくみや種の保存の工夫について気付かせ、種子に対する興味・関心を高めた。

(2) 単元構成の工夫『植物の世界 全23時間扱い』

実際の観察に必要な技術を身に付けさせた後、VTRの視聴やモデルによる体験活動などを取り入れた。生徒の様々な気付きや考えを生かして追究を重ねていき、より主体的な学習展開を考えた。



#### 3 実践の成果

教材の工夫に関しては、生徒の身近な教材を観察題材とすることで、普段何気なく見ている植物にもたくさんの不思議が隠れていることを確認することができ、植物に対しての興味・関心を高めることができた。

単元構成の工夫に関しては、実験・観察器具の基本的な使い方や観察・実験結果を分析して解釈し表現する能力を育てることができた。

**募集!**

**平成29年度実践記録・自作学習材コンテスト**

受付期間：平成30年1月4日(木)～1月12日(金)

詳しくは、各園・学校へ配布した募集要項、ポスターをご覧ください。